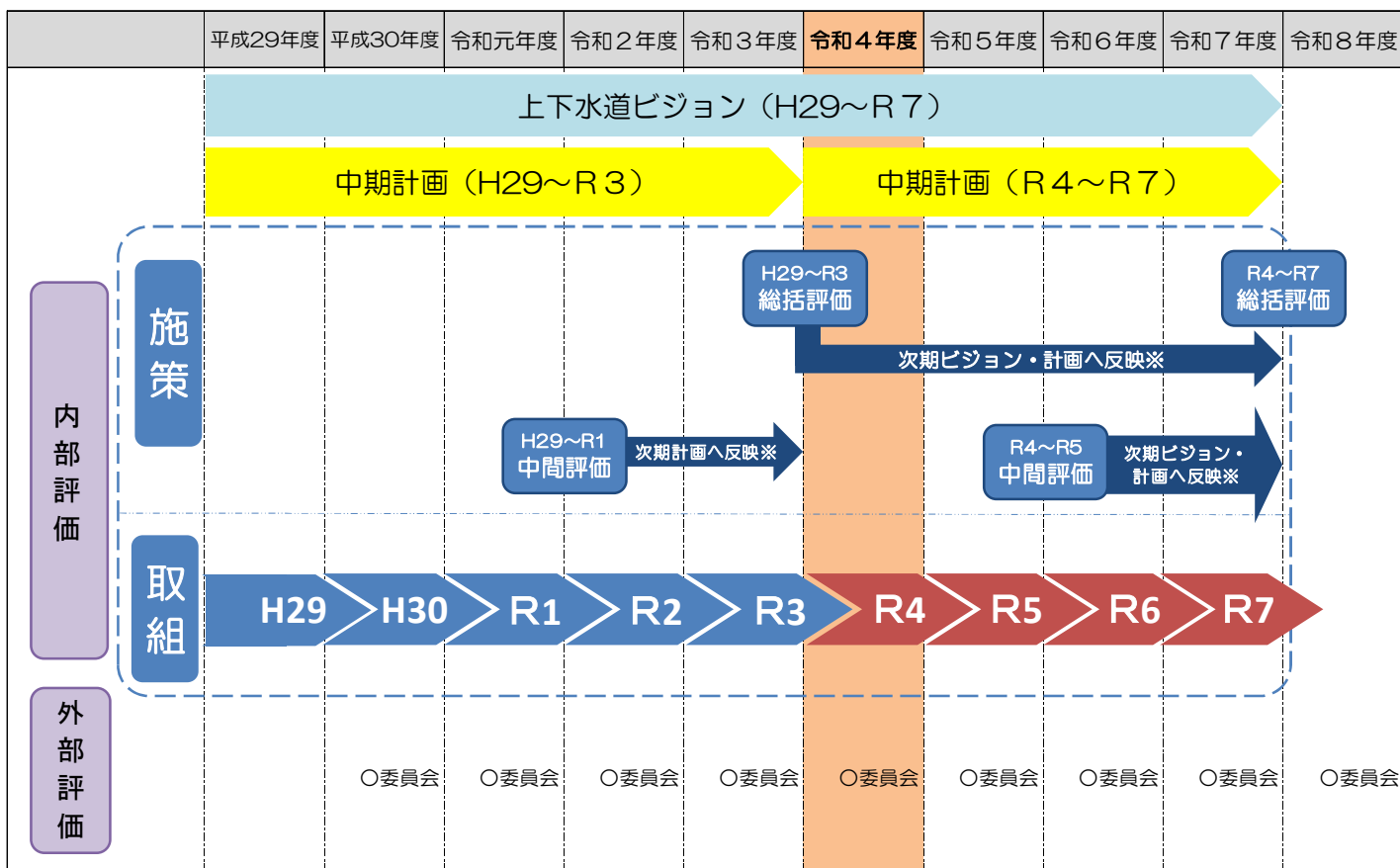


川崎市上下水道事業中期計画 (2022~2025)の進捗管理について

川崎市上下水道局

1 評価スケジュールについて

前中期計画の総括評価（H29～R3）及び現中期計画の中間評価（R4～R5）の結果や、その評価の妥当性に対する御意見等を、次期ビジョン・計画に反映していきます。



※次期ビジョン・計画の策定に向けた委員会は別途開催

2 進捗管理・評価の流れ〈取組〉

3

①【今年度の取組内容に対する達成度】

定量的な評価と定性的な評価等を総合的に勘案し、「今年度の取組内容」に対する達成度を5段階で評価します。

〈今年度の取組内容に対する達成度〉

記号	達成度区分	該当例	評価基準
1	目標を大きく上回って達成	◆目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ◆目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ◆目標に明記した数値を大きく上回った。	目標値に対して150%以上の場合
2	目標を上回って達成	◆目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ◆目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ◆目標に明記した数値を上回った。	目標値に対して105%を超え150%未満の場合
3	目標をほぼ達成	◆目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ◆途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ◆目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ◆おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。	目標値に対して95%以上105%以下の場合
4	目標を下回った	◆目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ◆目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ◆目標に明記した数値を下回った。 ◆所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。	目標値に対して50%を超え95%未満の場合
5	目標を大きく下回った	◆目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ◆目標に明記した数値を大きく下回った。	目標値に対して50%以下の場合

2 進捗管理・評価の流れ〈取組〉

【活動（アウトプット）・成果（アウトカム）指標】 **New**

数値目標（指標）については、「活動指標」又は「成果指標」のいずれかを選択し、どちらの指標なのかを意識して評価していきます。

活動(アウトプット)指標

行政がお金や人・労働時間などを投入したことで発生する、行政の**活動量**をあらわす指標
(どのくらい活動することができたか)

(アウトプット指標の例)

路上喫煙防止キャンペーンの実施回数

- 出前ごみスクールの実施回数
- 事業系一般廃棄物多量排出事業者等に対する立入調査の実施件数

認可保育所の整備（保育受入枠の拡大）

浸水対策実施率

成果(アウトカム)指標

行政活動を行ったことにより、市民が受ける**効果**をあらわす指標
(何をしたかではなく、その結果どうなったか)

(アウトカム指標の例)

路上喫煙防止重点区域通行量調査で確認された喫煙者数（\）

- 1人1日あたりのごみ排出量（\）
- ごみ焼却量（1年間）（\）

待機児童数（\）

浸水想定面積（\）

②【施策への貢献度】 **New**

「設定した目標」が施策へ貢献しているかどうかを評価するため、「施策への貢献度」を追加しました。中期計画に記載のある施策の「**効果**」との関係性を意識することで、設定している目標がどの程度施策へ寄与しているかを評価します。

施策1 水道水・工業用水の水質管理の徹底

効果

- 水質管理の向上により、良質で安全な水道水が供給されます。
- 水質目標値に沿った安定した水質の工業用水が供給されます。
- 給水管や小規模受水槽などの適正管理を推進することにより、水道水の安全性が向上します。
- 直結給水化により、良質な水道水を蛇口まで直接届けられます。

〈施策への貢献度〉

記号	貢献度区分	該当例
A	貢献している	◆取組の目標と、施策効果との関係性が強く、今年度の取組内容を達成している場合
B	やや貢献している	◆取組の目標と、施策効果との関係性がそれ程強くないものの、今年度の取組内容を達成している場合
C	貢献の度合いが薄い	◆取組の目標と、施策効果との関係性が弱く、今年度の取組内容を達成していない場合

2 進捗管理・評価の流れ〈取組〉

③【今後の取組の方向性】

「今年度の取組内容に対する達成度」、「実施結果等を踏まえた課題」、「施策への貢献度」から、今後の方向性を6段階で評価します。

〈今後の取組の方向性〉

記号	方向性区分	該当例
I	現状のまま継続	◆計画どおり取組を継続する場合
II	改善しながら継続	◆事業費等は変更せず、社会環境の変化や課題に対応するため、取組の手法等を見直す場合
III	取組規模拡大	◆計画事業費に対して予算や人員等を増加させ、一層の課題解決を図る場合
IV	取組規模縮小	◆計画事業費に対して予算や人員等を縮減させ、効率化等の改善、改良、見直しを図る場合
V	取組廃止	◆見直し等により取組を廃止する場合
VI	取組終了	◆計画どおりに取組を終了する場合

2 進捗管理・評価の流れ〈施策〉

①【施策の達成状況】

施策を構成する取組の達成度から、施策の達成状況を4段階で評価します。

〈施策の達成状況〉

記号	達成状況区分	該当例	評価基準
A	順調に推移した (目標を達成した)	◆「施策」を構成する「取組」が順調に進捗した場合	「施策」を構成する「取組」のすべての評価が3までの場合
B	一定の進捗があった (目標未達成のものがあるが一定の進捗があった)	◆「施策」を構成する「取組」が概ね順調に進捗した場合	「施策」を構成する「取組」の半分以上の評価が3までの場合
C	進捗が遅れた (目標を下回るものが多くあった)	◆「施策」を構成する「取組」のうち複数の取組の進捗が遅れた場合	「施策」を構成する「取組」の半分以上の評価が4以下の場合
D	進捗が大幅に遅れた (目標を大幅に下回るものが多くあった)	◆「施策」を構成する「取組」のうち複数の取組の進捗が大幅に遅れた場合	「施策」を構成する「取組」の半分以上の評価が5の場合

※複数の評価基準に該当する場合は、原則として、最も下位の達成状況区分とする。

②【今後の取組構成の妥当性】

施策の達成状況や今後の取組の方向性を踏まえ、今後の取組構成の妥当性を4段階で評価します。

〈今後の取組構成の妥当性〉

記号	取組構成区分	該当例
I	効果的な取組構成である (現状のまま継続する)	◆施策が目指すべき目標や達成状況を踏まえて、新たな取組の設定や既存の取組の大きな見直しがない場合
II	概ね効果的な構成である (一部見直し等の余地がある)	◆社会経済状況が変化していることなどを踏まえ、新たな取組の設定や既存の取組の見直しの必要がある場合
III	あまり効果的な取組構成でない (見直し等の余地が大きい)	◆社会経済状況の変化から、取組の入れ替えや既存の取組の見直しの余地が大きい場合
IV	取組構成に問題がある (抜本的な見直し等が必要である)	◆社会経済状況に大きな変化がもたらされていることなどから、取組の構成を含めた抜本的な見直しが必要な場合

公正かつ透明性の高い事業運営を推進するため、評価の結果については、経営審議委員会へ報告し、ご意見をいただいた上で、上下水道局ウェブサイトには公表する予定です。